

未 来 の 光

学校 HP <http://www.kawanishi-hyg.ed.jp/tadahipo/>

文責: 学校長

「運動会」という行事を通して、子どもを育てる

ポストコロナとして、コロナ禍以前とその渦中、両方のやり方や考え方をもとに、「新しいカタチ」ニュースタンドを模索して実施した本年度の運動会。「子どもが主役、子どもが育つ運動会」というコンセプトのもと、教職員が検討を進めてまいりました。

運動会全体の運営・進行にかかわっては、**6年生の子どもたちが実行委員として積極的に取り組めるシステムを構築したり**、同様に、**各学年演技や学団の団体競技を行うにあたり**、教師が主導するばかりではなく、**実行委員が中心となって子どもたちが主体的に取り組めるように**したりする考え方を多く採り入れることが進んだ今回でした。

また、新たに、「**各学年演技前の紹介は、その学年の子どもたちの言葉でスピーチする場**」「**子ども運動会・第41回運動会ともに、閉会式において『今日の運動会について、感想を発表したい人は？』と投げかけ、即興で、全校児童の前でスピーチする場**」を設定するなかで、子どもたちを育むことを大切にしたい運動会でした。

「昔からやってる運動会だから、前例踏襲して、今までと同じやり方で、行事を消化する」という考え方は全くなく、「**行事を通して、子どもを育てる**」ことができると捉え、取り組みました。

今年の運動会の中で、各学年演技(表現)について、全員が前向きに取り組み、学年として一つのいい演技をしようという意識が醸成されていたことや、子ども運動会においては、互いに表現を見合う中で、音楽に合わせて手拍子を打ったり、中には一緒に踊ったり、演技終了後、惜しみなく大きな拍手を送ったりしているようすがありました。これらは、私たちが求めている、子どもたちのよい表れであると受け止めています。

私たち本校教職員が子どもたちを育てる大事な視点として、「**豊かな教育課程を通して、子どもたちの4つのつきたい力(話す力、目的意識をもって主体的に行動できる力、責任をもって行動できる力、自己肯定観)を育む**」ということを心がけています。引き続き、行事同様、日常の授業、教育活動においても努めてまいります。ご理解ご協力賜りますよう、よろしくお願いいたします。



キャリアパスポートについて

年間、4月、11月、2月 随時のうち、「学年前半のふりかえり、学年後半の目標を設定」をする11月を迎えました。

この子どもたちのふりかえり・目標設定に対して、保護者から・教師から応援メッセージを添えて、子どもたちを豊かに育てていきたいと考えます。

キャリア・パスポートを持ち帰ります。半年間(1年間)の成長が見られるものとなります。

書いている内容を見ていただいて、後半に(次の学年に)向けての応援メッセージを下の欄に記入してください。記入後、**11月13日(月)までに、子どもにファイルを持たせて、提出してください。**

どのくらいできたか、〇をつけましょう。	ふく	まだ	おうえんメッセージ
① ともだちと なかよく できましたか。			
② はじめてのことに ちゃげんじ しましたか。			
③ わからないことは、 しつもん できましたか。			
④ すずんで べんきょう しましたか。			
せんせいから			おうえんメッセージ

11月の行事予定

きんたくん学びの道場:

12月の行事予定(案)

11月18日(土)より、学校 HP がかわります。これまでとは異なるシステムに更新するためです。目下、その準備作業を進めているところで、なかなか苦労しています。

現在の HP については、令和2年4月、私が本校に赴任時、カウンターを0にして以来、150万を超えるアクセスをいただきました。「開かれた学校づくり」の趣旨のもと、お子さまが学校で過ごすようす、学びの内容をお伝えすることで、学校と家庭や地域が情報共有を進め、子どもたちの健やかな成長を共に考える一助になればと思っておりました。この度、形式は変わりますが、このコンセプトを大事に続けていきたいと考えております。新しい HP をご覧いただくには、URL の変更が必要です。詳細については、別途、お知らせします。

運動会も終わり・・・

通常の体育科学習となりますが、季節が進み、体操服だけでは寒くなります。どうぞ、以下のことをお確かめいただき、適切な準備をお願いいたします。

《授業での服装・きまり》

- ・学校指定の体操服、帽子を着用し、胸元に名字の書いたゼッケンをつける。
- ・体操服や帽子を忘れた場合、保健室や他の人には借りない。(きょうだい間も×)
→忘れた場合は、原則見学する。状況に応じて担任が決める。
- ・肌着の着用は可。(袖のないもの)
着替えの肌着を持って来るのが望ましい。(風邪などの予防)
- ・日焼け止め(炎症を防ぐ場合など)の使用は可。ただし、使用や保管等、自分で管理する。

※冬場に防寒着として上着を着用する場合、以下の点に留意すること。

1. 普段着とは別に、体育用の上着(丸首)を用意する。中に、半袖体操服を着用すること。ズボンの場合も同じ。(ゼッケンでなくてよいので、必ずどこかに記名する。)
2. フードやファスナーの付いているものは禁止。
3. レギンスやタイツ等、体操ズボンの下にはくものは禁止。(運動に適した、動きやすいものを選ぶこと。)
4. ネックウォーマーは禁止。(手袋は、種目によっては使用可。ただし、安全を配慮し、運動にふさわしいものに限る。スキー用手袋は不可。)

※服装は、運動に適した、動きやすいものを選ぶこと。種目によっては、使用不可となるものもある。